

ぶらっと散策3 第7回探訪 三島江・玉川コース

日時:2022 年 10 月 6 日(木)

集合時間:10 時集合 3 時ごろ解散

集合場所:JR 高槻駅 改札を出て左突き当り

天 気:くもりのち晴れ

参加者 :受講生 32 名・CA 3 名・高槻ボランティアガイド2名

(1) JR 高槻駅構内



JR 高槻駅 10:28 発の臨時便バス待ち
唐崎西口まで移動。

(2)玉川沿いに玉川の里



玉川沿い付近にてガイドさんより挨拶。
1、2班と3、4班に分かれて散策スタートです。
3、4班のガイドは今井さんです。

玉川の里

「摂津国三島の玉川」として「天下の六玉川」の一つに数えられる。平安時代から多くの歌集の歌枕に用いられ、多くの人々に親しまれてきました。



うのはな
高槻市の花に選定されています。
夏の風物詩、和歌にも詠まれ
俳人・松尾芭蕉も俳句に残しています。

堤防沿いの桜並木春を彩ります。



(3)西面 正徳寺



創建の年月は不詳、もとは真言宗に属して聖徳寺と称していた。明
応6年(1497)了專が蓮如上人(写真 右)に帰依して浄土真宗に
転じ寛文6年(1666)現在の寺名に改めたという。



本堂は元禄 14 年(1701)に再建された。



境内には、市指定「保護樹木」のウツギ(卵の花) 可憐な白い花が咲きます。



鐘楼堂

(4)コスモスの道



三島鴨神社あたりの田んぼに4月はれんげ草、10月にはコスモス畑になります。散策スポットとして人気だそうです。

5) 三島鴨神社



武内式論社で、旧社格は郷社。
伊予の大山祇神社、伊豆の三嶋大社と共に「三三島」と呼ばれたという。また日本で最初の三島神社。
ただし 17 世紀以前は「幾島大明神」と称していた。



(6)三島江



三島江には河港がありました。
対岸枚方市出口との渡し口として、また大坂、伏見を結ぶ舟運で
栄え三島江浜と呼ばれた。



大坂からは干鰯(ほしか)、塩
材木などが荷揚げされた。一方
米、青果、酒などの特産品を送
り出された。
大きな船には数人の船頭さんが
いたという。



淀川河川公園にて昼食。
空腹を感じたと思ったら、もうすぐ
2 時でした。

(7)くらわんか舟発祥の地碑



くらわんか舟発祥の地碑
江戸時代 淀川は大坂と京都を結
ぶ物流の大動脈。
多くの船が上下していましたが
1615 年のとき徳川方に協力した
功により
舟に食物を売る特権を与えられた
のがくらわんか舟です。



淀川を往来する大型の船に近より
乗船客に「くらわんか」と声をかけ、
もち、すし、酒などの食品を販売す
ることから小舟を「くらわんか舟」と
いう名がつけました。

(8)興楽寺



悲母観音石仏
世界平和と世の母の苦を救うために建設されました。

行基が開いたとも言われ、畿内 49 寺院の一つ。
ご本尊は「マリア地蔵」の別名を持つ「11 面観音菩薩」言い伝えがあります。



子安地蔵は2、3度お参りすると子宝に恵まれるという言い伝えがあります。

皆様お疲れ様でした。
ボランティアガイドの方々、CAさん、
お世話になりました、ありがとうございました。

4 班